

2021 クラブマンモトクロス第1戦

「COVID-19 チャリティー MX」

順位	(H1/H2)	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
----	---------	----	----	------	----	-------

■ SE クラス総合 (入賞～総合6位 / フルポイント)

1	2/1	36	若松 大地	WINレーシング	S-RMZ250	22/25
2	4/3	188	山岸 孝善	ヤマタカレーシング	Y-YZ250F	18/20
3	6/2	22	安孫子 直樹	ISZ Racing	H-CRF250R	15/22
4	5/4	02	斉藤 秀喜	まいっちんぐレーシング	H-CRF250R	16/18
5	8/5	74	SANTOS MARCIO	MX BRAVES	H-CRF250R	13/16
6	7/6	11	有賀 亮	レドメイヴ RC	H-CRF250R	14/15
7	1/--	111	向井 努	MR-K 美蔵 with K-cross	H-CRF450R	25/--
8	3/--	01	浅賀 正	土の子倶楽部	Y-YZ250F	20/--

■ SE150 クラス総合 (入賞～総合6位 / フルポイント)

1	1/1	2	飯田 益己	隼 ROOST	H-CRF150R	25/25
2	2/2	1	藤田 康高	東京オートレジン	Y-YZ85	22/22
3	4/3	22	安孫子 賢二	エンゼルス関東	H-CRF150R	18/20
4	3/5	27	山本 久基	オヤジライダーズ	K-KX100	20/16
5	5/4	18	牧野 篤	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	16/18
6	6/7	37	小泉 俊一郎	TEAM MX JAPAN	H-CRF150R	15/14
7	7/8	12	加藤 木 桂(03/21)	TEAM-M-1-RACING	H-CRF150R	14/13
8	/6	5	斉藤 匡彦	隼 ROOST	H-CRF150R	--/15

※ GP/SE/GP150/SE150 は第1ヒート・第2ヒートとも25点法でフルポイント計上

■ E-F1 (旧 EJ450) クラス (入賞フルポイント～3位 / 以下ハーフポイント)

1	38	宮岡 貴之	ハラツヨ☆ワークス	H-CRF250R	25
2	01	蔵前 優生	桜井オ-トメイヴ	H-CRF250R	22
3	04	加藤 泰介	加藤泰介.BRC	H-CRF450R	20
4	367	吉田 巖太	MX.BRC(吉田巖太)	H-CRF450R	9
5	125	畔蒜 秀幸	Me&Her Racing	Y-YZ125	8
6	8	山 英靖	野田ジュアレージングクラブ	Y-YZ250F	7.5
7	210	日當 勝彦	TEAM MX JAPAN	H-CRF250R	7
8	4	榎戸 栄一	オヤジライダーズ	Y-YZ250F	6.5
9	34	見城 和幸	ヤマタカレーシング	H-CRF250R	6
10	19	時田 敏明	ヤマタカレーシング	H-CRF250R	5.5

■ E-F2 (旧 EJ250) クラス (入賞フルポイント～2位 / 以下ハーフポイント)

1	8	山 英靖	野田ジュアレージングクラブ	Y-YZ250F	25
2	367	吉田 巖太	MX.BRC(吉田巖太)	H-CRF450R	22
3	04	加藤 泰介	加藤泰介.BRC	H-CRF450R	20
4	38	宮岡 貴之	ハラツヨ☆ワークス	H-CRF250R	9
5	125	畔蒜 秀幸	Me&Her Racing	Y-YZ125	8
6	34	見城 和幸	ヤマタカレーシング	H-CRF250R	7.5
7	4	榎戸 栄一	オヤジライダーズ	Y-YZ250F	7
8	19	時田 敏明	ヤマタカレーシング	H-CRF250R	6.5
9	01	蔵前 優生	桜井オ-トメイヴ	H-CRF250R	6

■ E-M1 (旧 E150) クラス (入賞フルポイント～1位 / 以下ハーフポイント)

1	91	吉田 桂子	ボンネビル RC	K-KX100	25
2	88	水嶋 智	TEAM MX JAPAN	K-KX100	22
3	33	狩野 祐太	I.R.T.	K-KX85	10
4	34	中野 亮	隼 ROOST	H-CRF150R	9
5	46	内間 俊一	エンゼルス関東	H-CRF150R	8
6	54	山田 昌伸	ヤマタカレーシング	K-KX100	7.5
7	26	本間 孝美	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	7

■ E-M2 (旧 E150-B) クラス (入賞フルポイント～1位 / 以下ハーフポイント)

1	88	水嶋 智	TEAM MX JAPAN	K-KX100	25
2	91	吉田 桂子	ボンネビル RC	K-KX100	22
3	33	狩野 祐太	I.R.T.	K-KX85	10
4	34	中野 亮	隼 ROOST	H-CRF150R	9
5	46	内間 俊一	エンゼルス関東	H-CRF150R	8

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
----	----	----	------	----	-------

■ N-F1 (旧 N450) クラス (入賞フルポイント～3位 / 以下ハーフポイント)

1	800	岸部 泰平	I.R.T.	Y-YZ250F	25
2	12	藤井 翔大	SS Racing	Y-YZ125	22
3	123	佐藤 勝弘	V-major (プライマジョール)	Y-YZ250F	10
4	26	中越 公治	MX BRAVES	Y-YZ125	9
5	31	松上 育真	SS Racing	K-KX250F	8

■ N-F2 (旧 N250) クラス (入賞フルポイント～3位 / 以下ハーフポイント)

1	800	岸部 泰平	I.R.T.	Y-YZ250F	25
2	12	藤井 翔大	SS Racing	Y-YZ125	22
3	26	中越 公治	MX BRAVES	Y-YZ125	10
4	123	佐藤 勝弘	V-major (プライマジョール)	Y-YZ250F	9
5	31	松上 育真	SS Racing	K-KX250F	8

■ N-M1 (旧 N150) クラス (入賞フルポイント～5位 / 以下ハーフポイント)

1	11	山口 裕太郎	静岡スホ-ツライダーズクラブ	K-KX100	25
2	19	海老根 勝(03/21)	Heart Rocker	Y-YZ85	22
3	110	伊藤 晶	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	20
4	727	松永 博史	ボンネビル RC	H-CRF150R	9
5	34	境 光志	ブラバ-トレーシング&ハービー-	K-KX100	8
6	714	布施 昭男	エンゼルス関東	H-CRF150R	7.5
7	160	佐藤 真	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	7

■ N-M2 (旧 N150-B) クラス (入賞フルポイント～3位 / 以下ハーフポイント)

1	160	佐藤 真	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	25
2	727	松永 博史	ボンネビル RC	H-CRF150R	22

■ プレノ-ビス (MX 初心者及び N クラス入賞圏外の方 / 入賞2位)

1	N-34	境 光志	ブラバ-トレーシング&ハービー-	K-KX100	--
---	------	------	------------------	---------	----

■ セニア 70 (70歳以上 / 入賞1位)

1	N-78	斉藤 城太郎	野田ジュアレージングクラブ	Y-YZ85	--
---	------	--------	---------------	--------	----

■ セニア 50 (50歳以上 / 賞典外)

1	N-27	加藤 康之(03/21)	野田ジュアレージングクラブ	H-CRF150R	--
---	------	--------------	---------------	-----------	----



朝からの雨でマディ。しかしマディが得意なライダーからは「まだまだこんな雨では足りない」とのこと。



じゃんけん大会では、地元茨城に因んだラインアップを心がけています。銚田市の新堀農園の高級イチゴ。龍ヶ崎市 WESTWOOD MX からゴーグルが。

< RACE REPORT >

いよいよ2021年クラブマンレースの開幕戦だ!と意気込んで迎えた第1戦・MX408大会でしたが、首都3県の緊急事態宣言の延長が、レース当日の3/21までとなってしまったこともあり、非常に少ない台数での開催となりました。もちろん開催地茨城県は自粛エリア外ではありましたが、周辺の医療体制の状況などについても県庁の関係者と打合せし、了承された上での開催であったこともご報告させていただきます。

しかし台数が少ないということは、裏を返せばお立ち上がりされる確率が上がり、じゃんけん大会での賞品ゲットの確率も上がり、出たもん勝ちといった考えもあります。今回はWESTWOOD MXから100%ゴーグルの5個もご提供と、銚田市の新堀農園から、千疋屋でも取り扱っている高級イチゴをご用意しました。

レースの方は、朝から降ったり止んだりを繰り返した雨によりマディ。しかし水はけの良い山砂の土質に助けられ、ショートカットするほどもなく、いつも通りのレース運営をすることができました。

SEクラスは#36若松 大地選手(WINレーシング)が総合優勝。SE150は#2飯田 益己選手(隼 ROOST)が両ヒートを制して総合優勝。

E-F1は#38宮岡 貴之選手(ハラツヨ☆ワークス)が、E-F2は#8山 英靖選手(野田ジュアレージングクラブ)が優勝。E-M1は#91吉田 桂子選手(ボンネビル RC)が、E-M2は#88水嶋 智選手(Team MX JAPAN)が優勝するなど、午前と午後のコンディションの変化により、上位ライダーも入れ替わり、過酷なレースであったことと、マディの得手不得手が顕著に表れた結果であると考えられる。